

観光社会資本の事例

テーマ	漢那ダムを活用した地域活性化を目指す宜野座村	
【施設の状況写真】		
		<ul style="list-style-type: none">・漢那ダムでは、全国に先駆けて景観設計や環境保全に取り組んだ先進的なダムであり、さらに都市圏にも比較的近いことから来訪者も多く様々な利用がなされている。・特に地元宜野座村では、湖面を活用した地域活性化を目指している。
【施設の利用写真】		
		
<p>漢那ダムまつりカヌー体験状況 【H16 森湖旬間期間のダムまつり来場者数全国第6位】</p>	<p>ゴールデンウィーク利用状況 【湖畔公園は連休等に家族連れのキャンプ者でにぎわう】</p>	<p>国体九州ブロックカヌー競技大会 【H16 開催。近年、冬場はカヌーナショナルチームの練習場として活用】</p>
【観光資源としての利用状況】		
<p>漢那ダムでは、沖縄自動車道と近接していることや中南部都市圏とも比較的近いこともあり、多くの来訪者がある。</p> <p>また、ダム湖(かな湖)においては、まつり時のカヌー体験やカヌー競技大会、冬場のカヌー練習場として活用され、さらに湖畔公園では、連休等にキャンプ場として家族連れ等にも利用されるなど、地元および県民により多様な利用がなされている。</p> <p>加えて、地域のシンボルとなるように本ダム提体は、沖縄の城(ぐすく)をイメージするなど景観に配慮したものとなっていることから、地元写真家の撮影ポイントにもなっている。</p>		

テーマ	漢那ダムを活用した地域活性化を目指す宜野座村
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 漢那ダム</p> <p>○所在地 沖縄県宜野座村字漢那中山原2015-2</p> <p>○事業名 沖縄東部河川総合開発事業</p> <p>○事業主体 沖縄開発庁 沖縄総合事務局</p> <p>○事業期間 昭和53年度～平成4年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>○利水効果</p> <p>沖縄県の慢性的な水不足の解消に寄与する目的で沖縄総合事務局により6番目の多目的ダムとして建設。平成5年5月より県民の水がめとして利用。最大で1日あたり、およそ3万人分の水道用水を供給している。</p> <p>○治水効果</p> <p>ダム地点において、50年に一度おきる洪水流量200m³/Sのうち、130m³/Sを調節し、ダム下流の水害を防止、軽減します。</p> <p>○環境保全対策</p> <p>ダムができたことにより川と海を行き来する魚類(甲殻類及びハゼ類)の遡上阻害を極力軽減するために魚道を設置した。さらに、ダム上流域に元々存在した湿地を再現し、水生動植物の良好な生育環境を提供した。学識者の評価も高く、総合学習の場としても活用されている。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 北部ダム統合管理事務所 http://www.dc.ogb.go.jp/toukan/</p>	